

テ今般本校ニ進送セラルニヤ試験合格シ入学許可ノ上ハ直ニ給
費ヲ仰クヲ得ルモノトナシ僅カニ路費ヲ所持スルノミニシテ更
ニ数月間ヲ支フヘキ費用意スル者ナシ然ルニ上京尔來既ニ
〔ママ〕三閱月ニ及フヲ以テ頗ル窮迫ノ境ニ臨ム者アリ以上陳スル処ノ
事情ヲ以テスレハ右三拾余名ハ特別ノ処分ヲ以テ現今ヨリ学資
(欄外注記¹)ヲ給付セサルヲ得サル者ナリ又同時東京英語学校ヨリ進送スル
生徒及他ヨリ応募入学スル者ノ中目下既ニ学資ニ窮乏シ給費ヲ
出願セシモノ三拾余名アリ此徒モ夙ニ学業ニ從事シ若干ノ歳月
ト許多ノ資金トヲ費耗シ以テ今日ニ至ル者ニシテ其期スル所単
ニ本校ニ入り専門学科ヲ履践シ以テ大ニ学業ヲ研精セント欲ス
ルニアリ然ルニ今志望始テ達セントスルノ時ニ際シ若シ資金ノ
為メ從学スル能ハサルノ勢ニ至ラハ多年苦学ノ勞空シク水泡ニ
帰シ從来家財ヲ罄尽シ以テ学資ニ供セシモ到底亦タ徒費ニ属セ
シノミ果シテ然ラハ啻ニ本人ノ不幸タルノミナラス速ニ専門生
徒ヲ陶成セントスルノ旨趣ニモ戾リ実ニ嘆惜スヘキ次第ニ付此
三拾余名モ各英語学校生徒ト同一ノ処分ヲ為シ其志望ヲ遂ケシ
メサルヲ得サルナリ尤モ給費生規則ハ旧貸費生処分ノ為メ設ケ
ラレシモノニシテ新ニ給費生ヲ増員セラル、ノ旨趣ニ非サレハ
右六拾余名ノ如キ貧困窮迫ニシテ事実給費ヲ仰カサルヲ得サル
者ト雖凡入学後凡ソ五六ヶ月間ヲ以テ学術ノ進否及其勉惰貧富
等ヲ精査シ大ニ将来ノ成業ヲ期スヘキ目的アルモ全ク赤貧ニシ
テ学資ヲ自弁スル能ハサルノ事実明確ナルニ非ザルヨリハ新ニ
学費ヲ給付ス可ラサルハ無論ナリ然ルニ今般入学ノ者ハ入学後
僅カニ一月余ニシテ学力及勉惰等ノ如キ未タ充分ノ精査ヲ尽サ

62 各地英語学校から進送の東京開成学校入学許可生徒給費

出願に付伺

〔明治九年十月三十一日〕

〔朱書〕
〔開第二百十号〕

当学年ノ初愛知大坂広島長崎及新潟ノ各英語学校ヨリ進送スル
生徒試験合格ノ上入学ヲ許セシ者ノ中給費ヲ出願セルモノ三十
余名アリ抑モ此生徒タル先月中経伺ニ及フ如ク貧困窮迫ニシテ
永ク郷里ヲ去リ当地ニ寄留シ学資ヲ自弁スルヲ得ルノ力ナク到底
給費ヲ仰クニアラサレハ将来卒業ヲ期ス可ラサル者ナリ且ツ
給費云々ニ付テハ兼テ各英語学校長ト略々協議スル処アルヲ以

マル所アリト雖モ各英語学校生徒ハ兼テ該校長ヨリ照会保証スル処ノ次第モ有之旁以テ信認ヲ措クニ足ル且ソ既ニ数週間在学校及他ヨリ入学スル以テ略々学力ノ一端ヲ検査スルヲ得タリ而テ各英語学校及他ヨリ入学スル者ハ一々其貧困窮迫ノ景状及資産ノ有無等ヲ保証人ニ査訊スルニ其貧困窮迫ノ緩急ナル各自少シク差等アリト雖モ其学資ヲ自弁シ從学スル能ハサルニ至テハ彼此皆一ニシテ必至給費ヲ仰ガサルヲ得サル者ナリ斯ノ如ク事実止ヲ得サル儀ニ付特別ノ訛ヲ以テ右六拾余名均シク從前ノ給費生中ニ差加エ本月ヨリ本校補助金ヲ以テ其貧困ノ度ニ応シ一ヶ月金六円以下ヲ給付シ申度此段相伺候事実御洞悉ノ上速カニ允可相成度候也其人名如左

予科第三級

愛知英語学校生徒

愛知県士族	磯松景義	十八年十月
石川県士族	長寄桂	十八年四ヶ月
愛知県士族	鈴木矢之助	十七年
同	坪内勇藏	十七年六ヶ月
石川県士族	中野嘉作	十八年一ヶ月
同	三宅雄次郎	十六年四ヶ月
愛知県士族	本多壽雄	十七年九ヶ月
石川県士族	堀達	十六年四ヶ月
愛知県士族	小出貫一郎	十九年九ヶ月
大坂英語学校生徒	田口殖	十七年一ヶ月
岡山県士族		

大坂府平民	渋谷義次郎	十八年四ヶ月
愛媛県平民	三寄亀之助	十八年十ヶ月
大坂府平民	有賀長雄	十六年
同	石川弥太郎	十六年十月
同	山田喜之助	十七年五月
同	植田豊橋	十六年四ヶ月
京都府士族	中島謙藏	十五年二ヶ月
岐阜県士族	三和親本	十六年十月
山口県士族	小野徳太郎	十八年三ヶ月
兵庫県平民	田中正平	十五年三ヶ月
廣島英語学校生徒	山田峯之進	十八年五月
山口県士族	今田修	十六年七月
広島県士族	山田一郎	十六年六ヶ月
山口県士族	大屋権平	十五年七月
島根県士族	田邊三男	十七年一ヶ月
広島県士族	永田直二郎	十七年七月
山口県士族	中原貞三郎	十六年六ヶ月
島根県士族	中島栄	十六年十月
広島県士族	福間久米吉	十七年十一ヶ月
長崎英語学校生徒	横山又二郎	十六年五月
長崎県平民	鈴木重陽	十八年八ヶ月
同 士族	眞寄孝八	十七年十一ヶ月

十八年四ヶ月
十八年十ヶ月
十六年
十六年十月
十七年五月
十六年四ヶ月
十七年五月
十六年四ヶ月
十六年八ヶ月
十七年十一ヶ月

新潟英語学校生徒

千葉県士族	岡山兼吉	十四年七月
愛知県士族	東京府平民	十六年七月
新潟県平民	岩手県平民	二十年
同 士族	高知県士族	二十年
新潟県士族	山口県士族	十八年
同 士族	立花安二郎	十九年
東京英語学校生徒	藤澤 力	十七年一ヶ月
新潟県士族	原田慎次	十五年一ヶ月
愛知県士族	原川権平	十六年三ヶ月
東京府士族	長谷川館一	十八年
静岡県士族	井原師義	十九年九ヶ月
山口県士族	石川千代松	十五年七ヶ月
静岡県士族	笠原方正	十七年十一ヶ月
東京府士族	小林堅好	十七年一ヶ月
同	香坂駒太郎	十七年四ヶ月
山形県士族	永田貞祥	十七年
愛知県士族	岡倉八十八	十九年十月
東京府平民	大木良直	十四年六ヶ月
同 同	太田資禮	十五年十一ヶ月
千葉県士族	砂川雄峻	十六年九ヶ月
兵庫県士族	澤邊春水	十五年三ヶ月
京都府士族	関 直彦	十九年一ヶ月
和歌山県士族	染谷徳五郎	十六年六ヶ月

予科第二級甲

他ヨリ来リシ者

熊本県士族 伊勢時雄

同 第三級

他ヨリ来リシ者

横田七郎 十七年六ヶ月
十五年三ヶ月
十六年

滋賀県士族

横田七郎
藤田四郎

三重県士族

藤田四郎
市島謙吉

新潟県平民

細川文五郎
岡山県士族

計六拾七人

再伸左ノ四名ハ從来自費ニテ修業イタシ來候処目今學資欠乏自費修業難相成旨ニテ給費願出候ニ付取糾候処事実相違無之且ツ何レモ成業ノ目途有之者ニ付同様給費許可相成度候也

本科下級

化学

岩手県平民

山崎為徳

十九年三ヶ月

予科第一級乙

東京府平民

岡倉角藏

十三年十一ヶ月

同 第三級

新潟県平民

熊倉恭三

十五年

愛媛県士族

橋 槐二郎

十六年五月

明治九年十月三十一日 東京開成学校長補 濱尾 新

文部大輔田中不二麿代理

(朱書)
〔同之趣事実無余儀相聞候ニ付聞届候事〕

(朱書)
〔明治九年十一月十四日〕 団

(欄外注記)

〔学第二千五百六十四号〕

〔文部省往復〕明治九年甲、
⑩A 15